

協定企業名	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
開催日時	平成 26 年 10 月 18 日（土）午前 10 時 00 分～午後 2 時 30 分
開催場所	大豊町ゆとりすとパークおおとよ 「三菱 UFJ 信託・『想い』をつなぐ森」（大豊町有林）
主な参加者・人数	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 37名 大豊町9名、森林組合3名、立川体験交流の会8名、高知県2名 総勢59名
概要	間伐作業、餅つき、こんちん作り、木工体験（箸、楊枝作り）など
当日の様子	 <p>交流活動の日の早朝、集合場所のゆとりすとパークは、眼下に一面雲海が広がり、 何も言われぬ光景が……。また、空を見上げると雲一つない秋晴れの天気となり、最 高のコンディションの中で交流活動が始まりました。</p> <p>まず、パーク内のコテージ棟から少し上がった間伐体験の場所付近で開会式が行わ れ、三菱UFJ信託銀行の中西常務、大豊町の岩崎町長からそれぞれご挨拶があり、 その後、4班に分かれて間伐体験を行いました。</p> <p>森林組合の指導職員から、受け口と追い口の位置やノコギリを入れる角度などにつ いて説明を受け、いよいよ間伐体験です。直径20cm程の木を早い班では、20分ほ どで切り倒し、その倒れた木の前にみんなで記念撮影しました。切り口からはヒノキ のいい匂いが漂い、あらためて木の良さを体感していました。</p> <p>中には、枝葉同士が絡まったりしてなかなか倒れない木もあり、やっとのことで倒 れた時は、歓声と拍手が森に広がりました。</p>  <p>各班ともに1時間ほどの間に 1本から2本のヒノキの間伐を 行い、ここで作業は終了。</p> <p>初めての間伐体験で、腕がパン パンになったという方もいま ましたが、最後は、みんな笑顔で 記念撮影をしました。</p>  <p>この後は、立川番所に移動して、お楽しみの昼食タイムです。「立川体験交流の会」 の皆さんによる地元食材を使ったご馳走を参加者みんなで美味しくいただきました。</p>



←田舎料理

地域で採れた食材（山菜、銀杏、シカ肉など）を使った心温まる食事でした。

昼食の後は、「立川体験交流会」の小笠原さんと会長の永野さんから、『丸太橋』を題材にした、手作りの紙芝居「見渡し地蔵」（丸太橋のそばに置かれたお地藏様とその橋で起こる様々な出来事を物語にしたもの）や通行の利便を図るためボランティアの協力のもと地区内の溪流に丸太橋をかけたことの活動報告がそれぞれありました。せっかく作った丸太橋は、10月13日の台風19号の際の増水の影響で流れてしまい本当に残念な結果となりましたが、再度、チャレンジしていただきたいと思います。

その後、3班に分かれて、「餅つき」と「こんちん作り」と「木工体験（箸と楊枝作り）」を行いました。※「こんちん」とは、中力粉、ゴボウ、エゴマ等を使ったチジミに似たお好み焼きのようなもの
お餅つきでは、初めて杵を握った方も多く、つくのに悪戦苦闘していましたが、周りからの掛け声に励まされ、懸命についていました。出来上がったお餅を丸めると、皆さん早速美味しそうに食べていました。

また、木工体験では、皆さん集中して黙々と箸や楊枝作りを行い、出来上がった箸を使って早速羊羹の試食を！余ったお餅やこんちん、箸や楊枝は、お土産としてお持ち帰りすることになりました。

閉会式では、三菱UFJ信託銀行の金子部長から「『思いをつなぐ森』での活動を通して、皆さんの思いを繋げる活動ができました。」とお礼の挨拶と、各県を代表して岡山、徳島、香川、高知から参加した入行1～2年目の社員の方から、楽しい経験と自然の良さを体感できたこと、来年も是非参加したいとの感謝の挨拶があり、交流活動は無事に終了し、皆さん元気に帰路につきました。



木工体験（箸、楊枝づくり）

お餅つき体験



こんちん作り

立川番所を背景に全員で記念撮影